

キャラクター名 黒柳 清華(クロヤナギ セイカ)	プレイヤー名
-----------------------------	--------

シンドローム	オルクス ソラリス	ワークス	FHチルドレンA	カヴァー	小学生
オプショナル	ウロボロス	年齢	12歳	性別	女
覚醒	素体	衝動	妄想	初期侵食率	41%
出自	作られた命	経験	実験体	邂逅	特別な愛

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	4
肉体	0	1	0			1	行動値	4
感覚	1		0			1	(非装備時)	4
精神	2		0			2	戦闘移動	9
社会	5		0			5	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉	9	10
回避	1		知覚			意志			調達	2	
運転 : 騎乗(動物)			芸術 : 演劇(動物)			知識 : 読書(動物)			情報 : 盗聴(動物)	1	
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化ビジネススーツ	14	3			[社会]の達成値+2。装備中
邪王の外套		7			ウロボロスのエフェクトをLv1で取得

合計装甲: 3 合計回避: 0

所持品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
ロイス「遺産継承者：邪王の外套」	P	N		
マスター・ブラック：黒柳凌空	P 慕情	N 不安		
マスター・サムライ：オールドダム	P 親近感	N 恐怖		
スノウ・リリィ：アヤメ	P 友情	N 憐憫		
お姉様：伊織 愛	P 親愛	N 不安		
水梨 愛梨	P 信頼	N 偏愛		
水梨 由愛	P 羨望	N 偏愛		

最大財産P: 14 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
リフレックス	3	2	リアクション	自身	-	-	-	
効果:	CL-Lv							
原初の赤：狂乱の一声	10	3	メジャー	視界	単体	対決	-	
効果:	攻撃力+Lvの射撃攻撃。命中時憎悪付与。憎悪の対象は私。基礎侵食率+3							
命の盾	1	1	リアクション	至近	自身	対決	-	
効果:	<交渉>でドッジを行える							
絶対の恐怖	1	3	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻撃力+Lv。装甲無視							
テンプレートション	4	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	<交渉>の達成値を[Lv×2]							
混色の氾濫	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	「対象：範囲（選択）」に変更する							
竹馬の友	★	-	メジャー	視界	単体	自動成功	-	
効果:	幻惑物質で対象の認識をかく乱し、その信頼を得る。判定は<交渉>							
誘蛾香	★	-	メジャー	視界	単体	自動成功	-	
効果:	特定の動物や虫が好むフェロモンを散布し呼び寄せるエフェクト。判定は<交渉>							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【ヤンデレ傾向】  
世界中全ての人に愛を振り撒いて、皆が幸せであれば自分はそれで構わないという無害型。  
誰かに惚れるとその人に自分の全てを捧げる崇拜型となる。

【設定】  
私は名も無き人形。心を持たない。ただの実験道具。人体実験のための消耗品にすぎない。  
最初の実験はとても痛かった。全身を切り刻まれるかのような痛みが不規則に襲いかかり、呼吸すらままならず、とても苦しかった。「や・・・め・・・」と声振り絞るようにお願いしても誰も聞き入れてくれませんでした。私の意識は防衛本能で痛みから逃げるように失いました。。2度目の実験も同じ。ただ痛く苦しいもの。それを、3度目4度目5度目・・・痛みも感じなくなったころから数えるのをやめました。私の居た研究施設は敵が多かったようです。そのため、実験体の私達も戦場に送りつけられました。武器はナイフ1本だけしか渡されず、多くの実験体仲間は殺されました。私は生きるために必死で戦いました。。生きる理由はないけれど、死にたくない。そう思いました。そして、生きて帰れば実験体に戻ります。そうしているうちに私の体は度重なる瀕死の重症と実験のせいでポロポロになり、リザレクトでは復元できないほど弱ってしまいました・・・そして、私の処分が決定されました。  
処分の日、突き付けられる銃口を見ながら私はそこから放たれる弾丸を待ちました。しかし、その弾丸は私に向かってくることはありませんでした。引き金を引かれる直前、施設に侵入者が現れたのです。私を殺そうとした研究員は私にナイフを渡し、侵入者の排除を命じました。命令通り向かうと、「相手を殺す気なら、殺される覚悟をしよよ」という言葉が聞こえました。現場に到着すると、侵入者に襲いかかった実験体仲間は皆殺されていました。そして、その侵入者を見て、私は「勝てない・・・怖い」初めて恐怖しました。ナイフは手から零れ落ち、その場にへたり込む私をその侵入者は無視し、研究員を惨殺。研究施設もろとも研究成果を燃やし尽くしてしまいました。燃え盛る私が生まれ育ち、苦痛という記憶しかない元研究施設を私は見続け、そんな私の前に侵入者は戻ってきました。そして、「生きるか死ぬか・・・選ばせてやる」そう刀を向けて問うてきました。私は「死にたくないです。」泣きながらそう答えました。そうすると、侵入者は私の手を取り、私は侵入者・・・マスター・サムライ：オールドダムとともに研究施設をあとにしました。  
彼が向かった先はとあるFHセル。そのセルリーダーと思われる方と仲良く話していました。話が終ると、セルリーダーの方が言いました。「ようこそ、ここは自分の色を見つけ、色を鮮やかにするセル。"混色(アーマス)"。私はセルリーダー兼マスター・ブラック:黒柳凌空です。」セルリーダーの話を知ると、私は今日からここに厄介になるようです。セルリーダーは私が名前が無いことを知ると私に黒柳清華という名前を付けてくれました。